

こんにちは

# 議会ぎかいです

From 500 City Assembly

曾於市議会だより

第79号

令和7年2月14日  
発行



## 目次 CONTENTS

### 特集 02-05

## 曾於高校生との意見交換会

- 06-09 Topics 第4回定例会
- 10 議決結果
- 11-17 市政を問う 6名の議員が登場
- 18 委員会調査リポート
- 19 故 上村 龍生 議員 追悼  
議場見学 諏訪小学校
- 20 夢チャレンジ 野元 成未 さん、美智 さん

## (1) バスの便数の減少や廃線について

### 高校生の意見



- ・休みの日はバスの運行がなく、部活動ができない  
特に1年生はバイクの免許が取れないので不便
- ・日曜、祝日のスクールバスの運行はできないのか

### 議員の回答

本来は中学校のスクールバスで、時間も中学校に合わせて契約している。それを利用しているので、現状では増便は難しいようだ。

土日の利用は別途、高校でバス会社と契約が必要になる。

土日の部活動には思いやりバス・タクシーの活用を検討してはどうか。

## (2) バイク・自転車通学の安全性を確保するための対策について

### 高校生の意見

- ・県道、市道のセンターラインが消えているため、車と接触しそうになり危険
- ・冬場の下校時、マインドロードの街灯がなく危険
- ・ナンチク付近、JA高松スタンド付近の道路がデコボコして危険



### 議員の回答

市民からのご意見やご要望に対し、優先的に必要な箇所から対応してもらっている。

国・県道であれば管理者へ依頼するので、必要な箇所があれば教えてほしい。

市が管理している電灯が切れていたら、交換・修繕等対応を求めていく。

また、幹線道路等については、市で設置できる場合もあるので、教えてほしい。



地面がデコボコしている高松交差点



冬場は18時過ぎになると真っ暗になるマインドロード

# 特集

## 曾於高校生との意見交換会を初開催

11月28日に曾於高校にて「議員と語ろう会」を初開催しました。文理科、普通科、畜産食農科、機械電子科、商業科の1・2年生10名と市議会議員8名で2時間、活発な意見交換をしました。

### (3) 曾於市在住の外国人労働者（実習生）への支援について

#### 高校生の意見

- ・ 曾於市でも外国人実習生が増えており、自転車を運転される方も多いが、支援はあるのか



#### 議員の回答

日本に着いてからも一定期間の講習を受けている。

曾於市に住民登録されている外国人は 632 人で、市内の技能実習生は 357 人（男 94・女 263）である。

### (4) 曾於市のPR活動について

#### 高校生の意見



- ・ 市民祭や弥五郎どん祭りなど素晴らしいイベントがあるのにPR不足では
- ・ アニメや動画を使ったページを使ってほしい
- ・ #（ハッシュタグ）をつけて、知りたいページに飛べるようにしてほしい
- ・ サイトが見にくく、すぐに知りたいページに飛ばない

#### 議員の回答

市の公式HPや曾於市観光大使のインスタを紹介した。

高校生に情報の入手方法を確認したところ、インスタやTikTok、YouTubeで、動画もショート動画やリールなど、短いものがほとんどであったので、若い世代にフォーカスした市のPR活動の充実を求めていく。

(一社) 曾於市観光協会のInstagramはコチラ ▶  
曾於市の魅力を発信中!



### 【高校生が考える未来の曾於市】

- ・ 緑豊かなまちなので、そこを生かした癒やしの場所を作ってほしい
- ・ 移住しやすい環境を作ってほしい
- ・ 地元の人たちとのコミュニケーションができるまちなので、それを生かした環境づくりをしてほしい
- ・ 若い人たちが遊べる場所がほしい
- ・ 高校卒業後は、一旦は家を離れて大学進学や就職をするが、いずれはふるさとの曾於市に帰ってきたい



# 【高校生へのアンケート結果】

## 意見交換会に参加して良かったか

### ◆良かった点◆

- ・たくさんの意見が出た。曾於市の良い点だけではなく課題も出た
- ・普段生活している中では聞けない社会の仕組みのようなものを聞いて良かった
- ・自分1人で考えていたことを話すことができ、気持ちもすっきりし、曾於市に対する考えが深まった



### ◆良くなかった点◆

- ・もっと時間がほしかった
- ・市政というものを事前にある程度、知っておきたかった
- ・少し考えが足りなかったり、説明不足で話が食い違ってしまった部分があった

## 意見交換会に対する今後の改善点、要望

- ・時間がもっとほしかった。定期的に行うと良くなっていくと思う
- ・話す題目、カテゴリーを大きく決めて、それに沿って交換会をすると様々な意見が出せると思う
- ・写真や具体的なグラフ・表を付けると想像が付きやすい
- ・毎年実施し、市民と議員との意見をすり合わせて市について決めたい



令和7年度

議員と語ろう会

# 参加者 募集中!



曾於市議会は意見交換を希望する団体を募集しています。  
皆様のご意見等を今後の議会活動に反映させていただきますので、  
この機会にぜひお申込みください。



- 対象となる団体…
- ①市内に居住・通勤・通学する団体
  - ②市民等により構成される団体や市民グループ
- ①②を満たす団体で、5名以上で参加できることを条件とします

申込み方法…市のホームページに掲載している次の書類を作成の上、議会事務局へご提出ください。

- 曾於市議会意見交換会開催申込書
- 曾於市議会意見交換会参加者名簿
- その他参考資料（必要に応じて）

詳しくは、  
市のホームページへ！



※議会の定例会（6・9・12・3月）や臨時会の開催状況によっては、お受けすることができません。また、議会側の都合により、日程のご希望に沿えない場合があります。

## 参加者の感想

堅いイメージだったが、  
柔軟に動いてくれる  
イメージになった



自分が入れない世界にいる人というイメージだったが、  
市民の身近にいる人たちというイメージに変わった



真面目な方が多くて意見が言いづら  
いと思ったが、とても言いやすかった



☆2月にも岩南小学校との意見交換会を予定しています。



Topics

第4回定例会

令和6年  
12月6日から  
12月20日まで  
(15日間)

条例の改正や補正予算、各施設の指定管理者の指定についてなどの議案を審査・審議しました。

Topic1  
鹿児島県後期高齢者医療広域連合規約の一部改正

承認案第8号 賛成多数可決

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行により、被保険者証が廃止されることに伴い、鹿児島県後期高齢者医療広域連合規約の「被保険者証及び資格証明書」を「資格確認書等」に改めるものです。

※12月2日をもって健康保険証の新規発行が廃止され、「マイナ保険証」の利用を基本とする仕組みに移行しました。

Topic2  
教育委員会委員の任命

同意案第2号 同意

比良 淳也氏(大隅町)

現委員である米澤 敬昭氏の任期が、令和6年12月26日をもって満了することに伴うもので、任期は4年間となります。

Topic3  
曾於市立図書館・曾於市中央公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正

議案第72号 全会一致可決

曾於市立図書館大隅分館及び大隅中央公民館が、大隅支所庁舎の複合施設として建設されることにより、その位置及び大隅中央公民館の使用料を末吉中央公民館と合わせる(面積に応じて料金を算出)形で改正するものです。

改正後の大隅中央公民館使用料 (総額表示)

区分	使用料			冷暖房使用 1時間当たり
	午前9時から 午後1時まで	午後1時から 午後5時まで	午後5時から 午後10時まで	
第1学習室	880円	880円	1,100円	110円
第2学習室	880円	880円	1,100円	110円
和室	880円	880円	1,100円	110円
研修室	440円	440円	550円	110円
調理室	440円	440円	550円	110円
多目的ホール1	1,320円	1,320円	1,650円	110円
多目的ホール2	1,320円	1,320円	1,650円	110円

- 備考
- 1 使用時間が各使用料区分にまたがる場合は、各々の使用料を加算した額とする。
  - 2 超過時間1時間(1時間未満の端数があるときは、30分以上を1時間とし、30分未満は切り捨てる。)につき、多目的ホール1及び多目的ホール2は660円並びに多目的ホール以外は220円を加算した額とする。
  - 3 専ら営利を目的とするものについては、倍額とする。
  - 4 使用者が特別の設備を行い、又は備付けの器具以外の器具を使用するときの電気料金は、別に教育委員会等の指定する額を徴収する。

Topic4  
曾於市子ども医療費助成金支給条例の一部改正

議案第73号 全会一致可決

県の方針により、子ども医療費助成金の助成方法が左記のように変更することに伴い、関連する規定を改正するものです。

現在(県内医療機関)

課税世帯	償還払い ※窓口でいったん支払いを行い、後日、支払った負担金を償還する
非課税世帯	現物給付 ※窓口で支払いが発生しない

令和7年4月1日~(県内医療機関)

課税世帯	現物給付
非課税世帯	

問 県外の医療機関での受診割合と今後の対応は。

答 ※レセプト件数における県外医療機関の受診割合は約52%である。県外で受診した場合は、現行どおり償還払いである。

※レセプト件数：レセプトとは、医療機関が保険者に提出する月ごとの診療報酬明細書のことです。  
レセプトは、一か月間の診療内容を記載するため、一つの医療機関で、一人につき1件作成されます。(同じ方が一か月の間に同じ病院を何度受診しても、レセプトの件数は1件となります。)

**意見** 県外医療機関の受診割合が半数以上ある現状なので、県境越えの受診でも現物給付ができるように国や国保連に要望すること。また、基本的には現物給付となるが、保険適用外は今までもおり窓口で負担しなければならぬので、受給資格者が誤解しないように周知の仕方を検討するように。

※子ども医療費は、18歳年度末までの医療費の保険適用分の自己負担額を全額助成するものです。

Topic5

各施設の指定管理者決定

議案第78・79・80・81・82・83号

全会一致可決

各施設の指定管理者が、次のとおり決定しました。

議案番号	施設名等	管理者	指定管理期間	
78号	曾於市養護老人ホーム清寿園	社会福祉法人輪光福祉会	令和7年4月1日から令和12年3月31日まで	5年間
79号	清流の森大川原峡	合同会社カケルドット	令和7年4月1日から令和10年3月31日まで	3年間
80号	曾於市末吉農産物等直販施設・活性化施設	株式会社メセナ末吉	令和7年4月1日から令和12年3月31日まで	5年間
81号	曾於市財部きらら館			
82号	曾於市立恒吉地区診療所	曾於医師会立病院	令和7年4月1日から令和10年3月31日まで	3年間
83号	(1) 曾於市立図書館及び末吉歴史民俗資料館 (2) 曾於市立図書館大隅分館 (3) 曾於市立図書館財部分館	株式会社ヴィアックス	令和7年4月1日から令和12年3月31日まで	5年間

【曾於市養護老人ホーム清寿園】

**問** 今回2団体の応募があったが、決定に至る経緯や指定管理期間を5年間とした根拠は。

**答** 令和4年度から選定基準・評価項目に「地域配慮」

の項目が追加された。審査の結果、賛同委員数が多かった輪光福祉会に決定したが、要因として、指定管理料と地域配慮の評価項目の配点が高く、特に指定管理料については年間1350万円の差があった。指定管理期間の根拠については明確な基準はないが、3年前までの指定管理の実績を考慮して5年間とした。

**意見** 選定基準・評価項目について、基準の在り方に改善点がある。また、指定管理料の差が激しいが、これまでのサービスの維持や職員の給料の在り方に懸念がある。担当課は3年に1回の定期的な監査だけでなく、日常的に監督・指導を徹底的にするように。

【清流の森大川原峡】

**問** 合同会社カケルドットの業務実績等は。

**答** これまでに大川原峡や花房峡キャンプ場のWiFi設置業務委託の受注や、各種企業相談対応などの実績がある。また、合同会社の社員は

4人で、それぞれが農業をはじめ、ウェブ制作などの仕事に就いている。

**問** 指定管理を受けるとなった際の人員の確保は。

**答** 従業員は地元を中心に雇用する予定で、昼間と夜間の管理棟の管理は5人程度、清掃や除草などの管理は10人程度の人員が交代で行う計画である。

【曾於市財部きらら館】

**問** 雨漏りの状況は。

**答** 防水塗装を実施し、多少改善したが、原因の特定が困難である。令和7年度当初予算で要求し対応したい。

【曾於市立恒吉地区診療所】

**問** 初年度だけ指定管理料が高くなっている理由は。

**答** 診療報酬の改定による医事システムの改修が必要であること及びマイナンバーシステムの導入に当たり、オンライン資格確認構築委託料として61万9000円計上しているためである。



〔曾於市立図書館、同図書館大隅分館、同図書館財部分館及び末吉歴史民俗資料館〕

**問** 以前、図書館本館を視察した際にエレベーターの不具合などがあるとのことであったが、その点を今回の指定管理者と協議したか。

**答** 覚書は締結しているが、議会の議決後でないとは基本協定や年度協定の交渉ができたため、本議案の可決後、直ちに内容を精査していく。

Topic6  
令和6年度一般会計  
補正予算(第6号)を可決

議案第84号  
全会一致可決

歳入は、国・県からの負担金・補助金や、地方債の借入などが主なものです。

歳出は、障害福祉サービス費、保育所等給食支援事業、活動火山周辺地域防災営農対策事業、肥育牛経営緊急支援対策事業、肉用子牛生産推進緊急支援対策事業、地域商品券発行事業、大隅文化会館管理費、現年発生農地・農業用

施設災害復旧費、現年発生公共土木施設災害復旧費の追加と、一部事業の減額が主なものです。

4億3809万円追加  
予算総額  
293億4094万円

総務常任委員会  
(山中雅人委員長)

〔大隅文化会館施設整備事業〕

**問** 充当する過疎債の枠は。

**答** ここ数年、県の調整があるが二次申請で100%対応できているので、今のところ問題はない。

〔自治会放送設備〕

**問** 電柱の本数は。

**答** 市全体では52自治会に設備があり、現在3750本の電柱が残っている。山林等に残された木柱については、朽ちていく状況もあることから、今後撤去した方が良く認識している。

〔戸籍システム改修委託料〕

**問** 改修内容は。

**答** 戸籍情報システム標準仕様の改訂に伴い、戸籍身分事項中の国籍の表記の一部に変更を加えるもので、法施行後のものから表記が変更される。

文教厚生常任委員会  
(岩水豊委員長)

〔メセナ住吉交流センター指定管理料〕

**問** 落雷による被害箇所の修繕費を指定管理料に計上することだが、被害に対する共済保険の支払見込は。

**答** まだ支払が完了していないものがあるので、それが終わらないと進められない。また、能登半島地震の影響で手続が遅れが生じるおそれがあり、年度末までには間に合わない。



落雷被害のあった高圧区分開器

〔保育所等給食支援事業〕

**問** 補助は保護者負担に對するものか。

**答** 保護者への補助ではなく、給食等を提供しており、かつ、物価上昇による給食費の値上げをしていない保育所等に對する補助で、物価上昇率を15%として算出した金額を毎月の園児数に応じて支給する。

〔小中学校施設修繕費〕

**問** 落雷による岩川小学校の放送設備及び大隅中学校の屋内運動場火災報知器の修繕は、予備費での対応か。

**答** 業者から予備の機器を借りて対応した。

## 〔大隅文化会館の高圧受電設備改修工事及び空調設備〕

**問** 以前行った空調設備工事との関連は。

**答** キュービクルは施設の電気設備の心臓部であるため関連がある。

**問** 空調設備が予算額より約半額で完了したと聞いたが、夏場の空調は確実に効くのか。

**答** 当初の仕様から市長指示で現状の仕様に変更した。夏場の冷房の効果は、実際に来夏の夏場にならないと分からない。

**意見** 地域住民の要望でせっかく予算化されたのに、市長指示で変更されたことで夏場に冷房が効かなければ、追加で予算が必要となり、これは非常に問題である。

## 〔大隅運動公園施設管理費〕

**問** 漏水調査・地盤復旧等業務委託について、以前、現地調査の際に業者が漏水箇所の調査を行っていたようだが、場所の特定は。

**答** 陸上競技場でおおむね見当が付いているが、まだ特定できていない。今回の補正で特定する予定である。

**問** 武道館の雨漏りは以前からあるが、予算化しての修繕は。

**答** 今回も計上していない。来年度予算についても現時点では要求していない。

## 産業建設常任委員会

(測合昌昭委員長)

〔肥育牛経営緊急支援対策事業給付金及び肉用子牛生産推進緊急支援対策事業給付金〕

肥育素牛の導入・自家保留に対し1頭当たり1万円、子牛せり市に出荷又は自家保留した農家に対し1頭当たり1万円給付するものです。

**問** 日本の酪農家が1万戸を割ったとの報道があり、酪農家も経営が厳しい状況であるが、補助等は考えられないか。

**答** 本年度は赤字経営となる

畜種を対象としており、酪農も厳しい状況だが、乳価の単価上昇もあり、数字の上では酪農家の赤字も縮小されていると判断し、今回は肉用牛に対してのみ実施する。

## 〔活動火山周辺地域防災〕

営農対策事業

**問** どのようなスケジュールで導入されるのか。

**答** 令和7年度事業として県へ要望したところ、前倒して事業採択され、年度内に事業完了の予定である。

## 〔店舗新築・改築補助金〕

**問** 今年度の実績は。

**答** 執行済みが8件あり、末吉が5件、大隅は3件である。今後の見込みについては、末吉と大隅が各1件、財部が2件である。

## 〔現年発生農地・農業用施設災害復旧事業〕

被害が大きかったものは。

**問**

**答** 査定額で1000万円を超えるものが3地区あり、排水路の崩壊により山林の原形復旧が伴うものや、道路と水路が同時に被災したが、原形復旧ができないため用地買収等が必要なものなどがある。

## 〔公民連携まちなか再生推進事業〕

**問** 工程表などを見ると令和7年度は全て計画策定に費やされており、スピード感が無い。公共事業で実施すれば、スムーズに事業が完了したのでは。

**答** 公民連携事業は民間事業者のスピード感で実施できることが強みだが、市として初めての取組であり時間がかかっている。公営住宅の建設事業が主体となる事業であるが、市の財政負担の軽減が図られることもあり、公民連携の手法により事業を進めたい。

## 第4回定例会で全会一致で承認・可決とされた案件

区分	議案番号	件名	区分	議案番号	件名
承認案	第7号	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度曾於市一般会計補正予算(第5号))	議案	第80号	指定管理者の指定について(曾於市末吉農産物等直販施設・活性化施設)
	第71号	支所庁舎整備に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について		第81号	指定管理者の指定について(曾於市財部きら館)
議案	第72号	曾於市立図書館の設置及び管理に関する条例及び曾於市中央公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について		第82号	指定管理者の指定について(曾於市立恒吉地区診療所)
	第73号	曾於市子ども医療費助成金支給条例の一部改正について		第83号	指定管理者の指定について(曾於市立図書館、曾於市立図書館大隅分館、曾於市立図書館財部分館及び末吉歴史民俗資料館)
	第74号	曾於市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について		第84号	令和6年度曾於市一般会計補正予算(第6号)について
	第75号	曾於市地域振興住宅条例の一部改正について		第85号	令和6年度曾於市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
	第76号	市道路線の認定について(天神丘1号線ほか2線)		第86号	令和6年度曾於市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について
	第77号	市道路線の変更について(阿邪里2号線)		第87号	令和6年度曾於市介護保険特別会計補正予算(第3号)について
	第78号	指定管理者の指定について(曾於市養護老人ホーム清寿園)		第88号	令和6年度曾於市生活排水処理事業特別会計補正予算(第3号)について
第79号	指定管理者の指定について(清流の森大川原峡)				

## 賛否が分かれた案件

### 議決結果一覧

追議員は議長のため、議決に加わることはできないが、投票による表決の場合で可否同数になったときは、議長が可否を決定する(裁決権)ことになる。  
賛成「○」。賛成者のみを語る表決方法であるため、賛成者以外(反対者・態度保留者・棄権者等)は「●」としている。

議案等	議員名	山中	出水	瀬戸口	矢上	片田	重久	鈴木	岩水	淵合	今鶴	九日	土屋	原田	山田	渡辺	久長	徳峰	結果
		雅人	優樹	恵理	弘幸	洋志	昌樹	栄一	豊	昌昭	治信	克典	健一	賢一郎	義盛	利治	登良男	一成	
承認案 第8号	専決処分の承認を求めることについて (鹿児島県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	承認

## 報告のあった案件

区分	番号	件名
報告	第8号	専決処分の報告について(鹿児島県市町村総合事務組合規約の一部改正)

## 継続審査となった案件

### 陳情第12号

「福祉の拠点づくり」についての陳情は、結論に達せず、継続審査となりました。



# 市政を問う

一般質問とは議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。

一般質問  
6名の議員登壇

## ◆令和6年12月10日

### 1. 徳峰一成 (日本共産党) ..... P12

- 市独自の農家支援策を
- 市民の暮らしを守る、財源確保対策を
- 立ち止まれ、公民連携による、末吉二之方開発の場所選定

### 2. 渡辺利治 (創政会) ..... P13

- 学校選択制
- 指定管理者制度
- 認知症予防対策

### 3. 久長登良男 (新生会) ..... P14

- 市長の政治姿勢
- 5つの基本方針
- 農林業

## ◆令和6年12月11日

### 4. 今鶴治信 (創志会) ..... P15

- 学校の樹木の管理
- 肉用牛の価格低迷

### 5. 瀬戸口恵理 (さくら会) ..... P16

- 子育てしたいと思えるまちづくり
- 高齢者が安心して暮らせるまちづくり
- ふるさと納税と企業版ふるさと納税

### 6. 岩水豊 (新生会) ..... P17

- 令和6年度施政方針
- 未活用の施設
- 財部温泉健康センターに関する住民意向調査

( ) 内は会派または政党名を記載しています。

Link



一般質問の録画

Question

# 立ち止まれ、公民連携による末吉二之方開発

Answer

市長／まだ決定していない



とくみね かずなり  
徳峰 一成  
(日本共産党)

資料I 曾於市主要作物の生産額、作付面積 ※市長答弁より

作物	2006年(平成18年)		2023年(令和5年)	
	生産額	面積(ha)	生産額	面積(ha)
水稻	15億4,000万円	1,915	9億3,000万円	1,112
さつまいも	17億8,000万円	1,078	19億4,000万円	1,091
だいこん	2億5,000万円	231	2億6,000万円	195
ごぼう	1億6,000万円	40	4億3,000万円	96
さといも	2億1,000万円	77	1億3,000万円	63
はくさい	3億9,000万円	141	5億3,000万円	152
ねぎ	3億6,000万円	54	1億3,000万円	24
かぼちゃ	2億6,000万円	57	4,000万円	11
すいか	2億2,000万円	53	1億8,000万円	25
茶	14億円	438	9億5,000万円	428
上記10作物を含む全作物	84億2,000万円	4,619	66億6,000万円	3,641

市独自の農家支援策を

**問** 畜産農家への支援策は。

**市長** 今定例会に、繁殖農家の出荷並びに肥育農家の素牛導入について1頭1万円の補助を提案している。

市長 今後検討したい。

**問** 一方、園芸農家への支援策がない。園芸農家はきびしい経営環境にあり、支援策を強く要求したいが。

**市長** 国・県の支援策をみながら検討したい。

**問** 継続性のある支援策が必要では。

**問** 合併後16年間、市民所得は低迷している。今後は、市民の暮らし第一の財源確保と予算づくりが必要ではないか。市が保有する15基金の約100億円は、大型事業などが中心の基金である。今後暮らしに使う基金の創設を提案したいが。

**市長** 現行の基金を活用していきたい。

市民の暮らしを守る、財源確保対策を

立ち止まれ、公民連携による、末吉二之方開発の場所選定

**問** 事業の全体像を議会に示さないなかで、なぜ急ぐのか。

**市長** 公民連携のまちづくりであり、今までと手法が違う。

**問** しかし用地取得や造成など予算が必要な場合については、向江住宅の近くか給食センターの東側との答弁である。給食センターは騒音問題が解決していない。場所は慎重に決めるべきでは。

**市長** この2か所を決定したわけではない。

**問** 法楽寺、掛上、菅渡、向江住宅は、現在の場所に建て替えをしないとの答弁だが、入居者の意見を聞いて決めるべきでは。

**市長** 今後調査したい。その段階で提案したい。

ちょっとひとりごと

物価高、一方市民所得は低迷状態。このため新年度は、市民の暮らし第一の財政への切りかえと予算づくりを。



Question

特認校への入学制度の改めは

Answer

教育長/旧町を越えて通学できるように制度を変えた

Link



一般質問の録画

学校選択制

**問** 学校区制度は、合併後も旧3町の区域割をそのまま通学区域と指定している。特認校への通学は旧町内ではできないが変更の考えは。

**教育長** 令和7年度から特認校に限り、財部小、末吉小、岩川小学校からも旧町を越えて入学できると教育委員会で決定している。

**問** 1学校1学級での職員の配置は。

**教育長** 校長と教諭1人ずつである。

**問** 同じ教育を受ける権利があるが教諭を増やす考えは。

**教育長** 養護教諭の配

置を7年度予算に組んでいる。



素晴らしい学校です。特認校制度を使おう。

指定管理者制度

**問** 指定管理団体への契約期間中の対応は。

**市長** 基本協定や年度協定の取り決めに基づき、所管課で対応している。

認知症予防対策

**問** 認知症の実態把握は。

**市長** 介護認定審査時のデータ集計で2167人で、本市も増加すると予測される。

**問** 現状の認知症対策は。

**市長** 認知症サポートー養成講座やステップアップ研修、啓発活



指定管理者制度で初めて基準上限額が示された図書館

動等を行い、正しく理解してもらっている。

**問** 認知症早期発見検査費用負担金軽減策は。(臓器撮影のスペクトル検査が約3万円である。)

**市長** 今のところ考えていない。

**問** 国の認知症施策の基本計画の市の反映は。

**市長** 3か年計画で取り入れている。

ちょっとひとごと

特認校に明るい希望が見えた。教育委員会の素晴らしい改革だ。

Link



一般質問の録画

Question

## 水ノ手団地の 今後の方針は

Answer

市長／民間に売却する考えである



開発が望まれる水ノ手団地

市長の政治姿勢

**問** 政策空き家を取壊し、普通財産での管理を計画されていたが、なぜ変更したのか。

**市長** 担当課から計画案が示されたため、変更することにした。

**問** 強制的に退去させた方々に申し訳がつかないのでは。

**市長** 今後、当事者には丁寧な説明をしていく。

5つの基本方針

**問** 人と自然を生かした活気ある地域づくりは。

**市長** 財部の悠久の森ウォーキング大会、溝ノ口洞穴の施設整備等を進めてきた。



整備が進められている溝ノ口洞穴

**問** 人口増を目指した地域活性化の推進は。

**市長** 宅地分譲事業、地域振興住宅の建設を推進した。財部高校跡地のスクラブ事業は、地域活性化に大きく貢献できていると考えている。

農業

水田・畑・果樹等の面積

単位(ha)	平成30年度	令和5年度
水田耕作面積	2,604	2,167
水田未耕作面積	29	222
畑耕作面積	5,310	4,994
畑未耕作面積	54	191
お茶の面積	-	428
ゆずの面積	-	97.6
梅の面積	-	22
果樹等	-	5
計	7,943	7,383

**問** かがしま林業大学校が2025年4月に開校するが、市有林を活用しての取組は。

**耕地林務課長** 県と連携をとりながら、実習林として検討していきたい。

市有林等の面積

	面積
市有林の面積	1,325ha
スギ(50年以上)の面積	486ha
ヒノキの面積	124ha

ちょっとひとりごと

財部のまちの  
活性化を望む





いまづる はるのぶ  
**今鶴 治信**  
(創志会)

Question

学校の危険樹木の状況は

Answer

教育長／令和6年12月現在において259本の危険樹木のうち、196本が残っている

Link



一般質問の録画

学校の樹木の管理

**問** 危険樹木の伐採の進捗状況は。

**教育長** 令和5年7月に日本樹木医学会鹿児島県支部に学校樹木の診断を委託した結果、259本が危険樹木として判定された。令和6年度末までには、126本以下に減らす予定である。令和5年9月に策定した樹木伐採計画に基づき年次的に対応している。今後も予算の範囲内で可能な限り前倒しを図りながら、伐採を進めている。

**問** 危険樹木伐採の優先順位は。

**教育総務課長** 危険度1(113本)・危険度2(36本)・危険度3(110本)で、危険度の高い(危険度3)樹木から伐採している。

**問** 児童・生徒の人命が大事である。予算を

増やして早急に伐採すべきでは。

**市長** 学校の樹木管理費に国等の助成がない。限られた予算の中でできるだけ早く対応していく。

肉用牛の価格低迷

**問** 子牛価格の推移(過去5年間)は。

**市長** 次のとおりである。

年度	価格(千円)
令和元年	772
令和2年	688
令和3年	734
令和4年	643
令和5年	549

**問** 1頭当たりの生産コスト(過去5年間)は。

**市長** 次のとおりである。(令和4年度まで)

年度	金額(千円)
平成30年	498
令和元年	529
令和2年	548
令和3年	563
令和4年	611

**問** 肥育牛の平均販売価格(過去5年間)は。

**市長** 次のとおりである。

年度	価格(千円)
令和元年	1,225
令和2年	1,094
令和3年	1,244
令和4年	1,224
令和5年	1,188

**問** 現在の国・県・市の助成は。

**市長** 国の助成については、子牛価格が補償基準価格の56万4千円を下回った場合に発動される子牛生産者補給金と、実質おおむね60万円までを保証する優良和子牛生産推進緊急支援事業がある。肥育経営の助成は、販売価格が生産費を下回った場合に発動される肉用牛肥育経営安定交付金制度(牛マルキン)がある。

県の助成は、生産・肥育とも国の制度に対する生産者積立金の一

部を県が助成している。市としては、今回補正予算で肥育牛経営緊急支援対策事業(1頭当たり1万円)、肉用子牛生産推進緊急支援対策事業(1頭当たり1万円)を提案している。

**問** 今回の市単独事業は、国の助成がなく全て市の持ち出しである。財源として今後クラウドファンディング型ふるさと納税等を利用すべきでは。

**市長** ふるさと納税や企業版ふるさと納税等を利用できないか検討する。

ちょっとひとごと

児童・生徒の安全安心のため危険樹木の一刻も早い伐採を!

Link



一般質問の録画

Question

産婦人科や小児科の誘致は

Answer

市長／厳しい状況だが、財政的な支援も考えながら協議を進めたい



せとくち えり 瀬戸口 恵理 (さくら会)

子育てしたいと思える まちづくり

問 ファミリーサポート事業の状況は。

市長 依頼会員38名、援助会員21名、両方会員3名であり、送迎や一時預かりを12回実施した(11月末現在)。

問 援助会員が足りない。増やす取組を。

一丁目も未来課長 改善に努めたい。

問 都城市は9月より自治公民館加入世帯の送迎利用無料化をスタートした。本市でも、若い世代の自治会加入にメリットがあれば、加入世帯が増えるのでは。

市長 検討したい。

問 保育・学校現場での不適切保育・指導への対応は。

市長 国のガイドラインを各施設で共有し、

より良い保育環境を目指しているが、苦情や意見が年に数回寄せられる。事実確認後、必要に応じて立ち入り調査や監査を実施し、指導している。

教育長 子どもに対する人権意識の欠如に起因すると考え、管理職研修会で子どもの権利条約や子ども基本法の理念に基づく学校づくりがなされる指導を行い、教職員の人権意識の高揚のための研修会等の充実にも努める。

高齢者が安心して暮らせるまちづくり

問 県内では福祉タクシーの助成が進んでいるが、交通弱者への支援は。

企画政策課長 公共交通計画でも、高齢者への移動支援が課題だと

うたっており、次のおり改善した。

決算額と今年度の状況

	ふるさと納税	企業版ふるさと納税
令和3年度	16億 2,353万円	4,430万円 / 11社
令和4年度	15億 4,160万円	1億 4,140万円 / 45社
令和5年度	17億 715万円	4,255万円 / 30社
今年度	6億 4,600万円	325万円 / 13社
総額	55億 1,829万円	2億 3,150万円 / 77社

※今年度は11月末現在

※企業数は重複を除く

おもしろタクシーの要綱改正の内容(10月から)

無料で乗車可	身体障害者手帳 1級・2級
	精神保健福祉手帳 1級
	生活保護受給者

ふるさと納税と企業版ふるさと納税

問 これまでの決算額と今年度の状況は。

市長 次のとおりである。

問 寄附増額の経費(歳出)と寄附額(歳入)の費用対効果、歳入増への今後の取組は。

市長 ふるさと納税の募集費用は、国から示された中で最大限の効果を発揮しているが、更なる返礼品の充実やPRに取り組む。

企業版は経費603万円に対し、寄附総額2億3150万円である。来年度以降も制度が存続するならば子育て支援にも活用したい。

ちょっとひとこと

縦横ナナメに繋がれば解決できることは意外と多い



Question

コンパクトシティの  
まちづくりは

Answer

市長／立地適正化計画を策定中

Link



一般質問の録画

令和6年度施政方針

問 公民連携による市  
営住宅建替事業の計画  
は。

市長 新地公園近辺の  
土地を市で取得、公民  
連携による市営住宅建  
替と開発を計画したい。

問 公民連携事業指針  
を策定し、公民連携基  
本計画を策定、公民連  
携に関する条例を制定  
することが最優先では。

市長 民間でどのよう  
な事業ができるかを提  
案していただき、その  
上で議会に提案し理解  
を求めたい。

問 公民連携事業の条  
例を制定し、市内全体  
のまちづくり構想を示  
した上で、その地区に  
あった公民連携による

まちづくりをするべき  
では。

市長 指摘のとおり、  
事業開始までには必ず  
条例を提案する。

未活用の施設

問 大隅・財部両支所  
跡の活用計画は。

市長 具体的な利用計  
画はない。跡地活用  
については、今後どのよ  
うな形が望ましいか検  
討する。

問 閉校跡・旧給食セ  
ンターの活用は。

教育長 次のとおりで  
ある。



未活用の月野中跡

近年閉校の活用

施設名	閉校年度	活用方法
旧大隅南小	令和3年	住民交流施設
旧財部北小	令和4年	民間活用の公募中
旧高岡小	令和5年	体育館・グラウンド住民運動施設

給食センター

大隅	令和6年	民間活用の公募中
財部	令和6年	ジビエ加工施設検討中

財部温泉健康センター  
に関する住民意向調査

問 住民意向調査結果  
は。

市長 3000名の市  
民に対してアンケ  
ーを実施、回収数は  
842人で、回答率  
28・1%である。

問 継続して、温泉と  
して残してほしいとの  
回答が多いが、今後の  
対応は。

市長 回答を尊重して、  
市の方針を決めて、地  
元説明会を実施したい。

負の遺産に  
ならないように、  
閉校跡の活用を  
進めて



# 委員会調査レポート

各委員会が所管する市の事務について行った所管事務調査や、研修の内容について報告します。

## 議会運営委員会

◆調査地及び調査事項 佐賀県嬉野市…議会活性化の取組みについて

◆調査期間 令和6年11月13日(水)～14日(木) 2日間

◆調査内容

嬉野市議会では、市民参加、情報公開、議会機能強化を柱として掲げ、平成21年に議会基本条例を制定し、実践に継続的に取り組まれています。議会報告会では、市民との意見交換に関して、市内団体との「語ろう会」に精力的に取り組む、令和5年度は、成年年齢の引き下げに伴う主権者教育の一環として地元高校生との意見交換会を実施し、本年度は、4日間全行政区を対象にコミュニティ単位で意見交換会を開催しておられました。



また、議会の機能強化を図る観点から、各常任委員会で検討した政策を議会の政策討論会において「政策提言書」に取りまとめ執行機関に提言する仕組みを構築し、様々な事業に対する提言や政策条例の制定がなされており、本年度も1件検討しているとのことでした。さらには、2年に1回、議員OBや市民代表者も選定して議会活動を評価する「議会改革状況評価」を実施され、その審査・評価を受けて更なる議会機能の向上・充実に努めていました。今回の調査では、議会基本条例に基づいた議会運営を推進し、より開かれた議会の実現と意見交換会等を通して市民との信頼関係を築き、議員自らが確実に継続して議会改革に取り組む重要性を認識したところです。

## 産業建設常任委員会

◆調査地及び調査事項 市役所本庁…公民連携の手法を用いたまちづくりについて

◆調査期間 令和6年7月8日(月)、令和6年11月26日(火) 2日間

◆調査内容

株式会社オガール代表取締役、岡崎正信氏を講師にお招きし、「民間主導・行政支援のまちづくり」と題して、講演いただきました。

岡崎氏は、総務常任委員会の所管事務調査でも調査を行った、岩手県紫波町の公民連携事業を企画推進しており、これまでに様々な公民連携事業に携わっています。その経験と学術的な識見を基にした研修を受け、公民連携に関しての知識を深めました。本市は、少子高齢化、人口減少とインフラの老朽化が進んでおり、10年後には人口が現在より5千人減少するといわれています。そのような中で、曾於市の将来を見据えたまちづくりのため、引き続き公民連携の手法を調査・研究していきます。



## 議会広報等調査特別委員会

### 議会広報研修会に参加

■令和6年11月7日(木) 13:30～

■講師：一般社団法人自治体広報広聴研究所 代表理事 かない しげき 金井 茂樹 氏

■内容：議会広報紙編集上の基本についての講話  
議会広報紙クリニック(講評)

鹿児島県町村議会議長会が主催する「議会広報研修会」に出席しました。



議会広報紙の企画や編集について、基本的な編集の手法や、広報の課題について交えながら学びました。広報の目的や、伝わる議会のためにはどのように紙面に表現すればいいのかなど、具体例や実際の議会広報紙を見ながらの研修で、今後の議会広報紙づくりに生かすため、編集の基本や表現の手法等、様々なことを学びました。



# 故人の功績をたたえ 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

市議会議員 上村 龍生 氏が、在職中の令和6年11月20日ご逝去されました。満72歳でした。

同氏は、平成25年12月に初当選され、曾於市議会で3期・通算10年1か月にわたる議員活動の中で、文教厚生常任委員を長く歴任され、令和元年12月から1年間、令和3年12月から2年間、文教厚生常任委員長としてその職責を全うされ、その間、地方自治の発展と、住民福祉の向上に寄与されました。



## 議場見学

令和6年11月15日、諏訪小学校の1・2年生の皆さんが、校外学習の授業の一環で、議場の見学に来てくれました。当日は、議長や議員席に座ったり、楽しそうに議会や議員の体験をしていました。

曾於市議会では定例会・臨時会の様子を、インターネットによるライブ中継や、録画配信でご覧いただけます。スマートフォンやタブレット端末から視聴できますので、ぜひご視聴ください。

QRコードからもアクセスできます ▶





# 夢 チャレンジ



の もと なる み                      み ちる  
野元 成未さん(左)と美智さん(右)

建設業のお父さんが建てたモデルハウス「木の家」をリノベーションし、2023年8月に定食ランチと手作りスイーツのお店をオープンした「なるみ食堂」を紹介します。

「特別高級ではないけれど、心がほっとする毎日食べたくなるご飯」をコンセプトに、生まれ育った大隅北に寄り添い、身近な食材等に手間をかけて食事を作る祖母と母から教わり受け継いだ、美味しくて幸せで温かい食卓の風景を、私なりに故郷でつなぎ続けていきたいとの思いから、店名も両親からもらった大切な自分の名前を含めて「なるみ食堂」としました。

「お食事を通してお客様とふれあい、心を豊かにし、地元が活気を取り戻すきっかけとなるように姉妹で頑張っています。」と、元気に話しておられました。

(鈴木)

## 表紙によせて

今回、初めて曾於高校生と議員と語ろう会を実施しました。

普段、議員と接する機会がないので、生徒の皆さんも最初は緊張しているように感じましたが、徐々に意見が出てくるようになり、予定の2時間があっという間に過ぎました。この意見交換会をもとに、曾於高校に通うのがより楽しく安全になるように、私たち議会も取り組んでまいります。

生徒の皆さん、先生方、ご協力ありがとうございました。

また、新聞やテレビでも報道がありました。曾於高校の科学部が第13回イオンエコワングランプリで内閣総理大臣賞を受賞しました。素晴らしい成績に、私たちも元気づけられます。これからも曾於高校のますますのご活躍を期待しています。

(矢上)

## 編集後記

2024年の始まりは、元日に能登半島地震、翌日には羽田空港で飛行機同士の衝突事故が相次いで発生し、これから一年どうなるのかと不安を抱えて過ごした方もいたことでしょう。

能登半島地震が発生してから一年が経過しましたが、思うように復興が進んでいない地域もあり、住民の方々は大変苦労されていることと思います。

本市でも毎年、台風や大雨などによる土砂災害が多く発生し、まだ復旧が進んでいない箇所もあります。今後も毎年のように大きな災害が発生するのではないかと不安の声も聞かれます。いつ災害が発生してもすぐに対応ができるよう、議員一同、引き続き迅速かつ的確に提案を行ってまいります。

(出水)

ぜひ傍聴にお越しください！

### 第1回 定例会予定

2月21日……………開 会  
2月27～28・3月4日……………一般質問  
3月26日……………閉 会

私たちが作っています。

いろいろなご意見を  
お聞かせください。



下段左から  
矢上委員長・瀬戸口副委員長  
上段左から  
出水委員・片田委員・  
鈴木委員・山中委員

発行責任者

議長 迫 杉雄